



エルフに

淫紋

を付ける本

LEVEL:8

▶R-18

エルフに淫紋を付ける本 キャラクター紹介



主人公：魔術師

エルフの隠れ里に“宝玉”を盗みに入った男。
宝玉の力で触手などの淫術を使用する。

隠れ里の族長と契約を交わし、
里のエルフに種を付ける務めを果たしている。
その見返りに、
シルファを借り受け、宝玉を探す手伝いをさせている
(勝手に)

謎に包まれているが、本人の戦闘能力はほぼないらしい。



ヒロイン：シルファ

魔術師に犯され淫紋調教されたエルフの森の守り手。
真面目でちょっと脳筋などところがある美しいエルフ。

戦闘能力は高く弓の名手だが、うっかりしていて
よくエロい罠にかかっている。
実は快樂に弱く、すぐ我を忘れて溺れてしまうところがある。
だが本人は至って本気で、快樂を得ても決して心は許さず、
誇りを捨てていないと思っている。

魔術師のことが気になってしまうが、本人は決して認めない。



族長
シエラディーナ

エルフの隠れ里の族長。
昔は高名な魔法使いとして名を馳せた冒険者
だったらしい。
冷酷なところがあるが
男に飢えていてドM。



町エルフ
ミスティ

過去、森から町に移り住んだ
エルフ族の末裔。
錬金術の研究をしつつ、
代々継いだ店を経営している。

常識人なので、魔術師や森の
エルフの考えにはついて
いけないところがある。

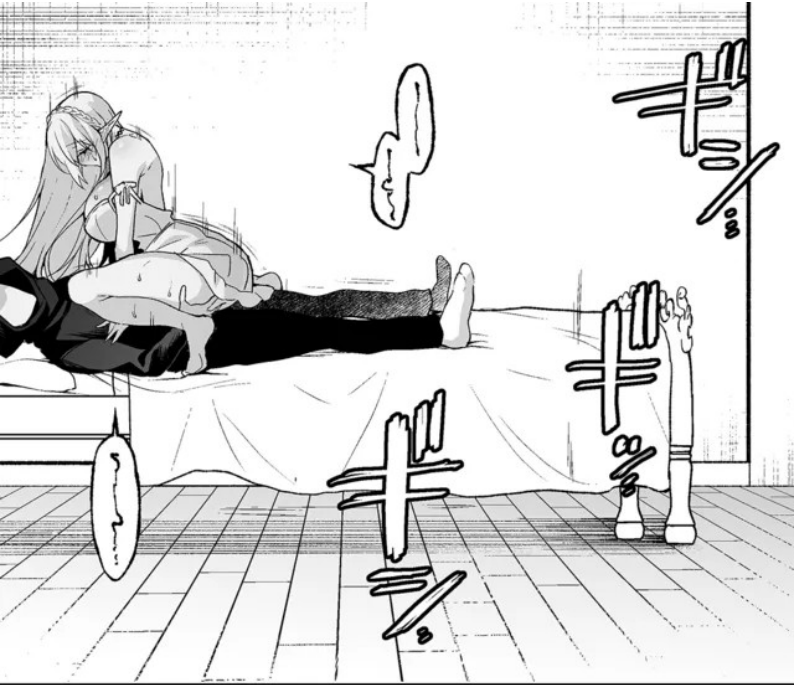


サーシャ
聖なる泉の巫女

エルフの隠れ里の
聖なる泉を管理する
たおやかな巫女。
潤沢な真素を含む泉を
利用し、温泉地として
観光客向けに
営業している。

あらすじ

エルフの里を襲い、淫紋を刻んだ謎の魔術師。
里のエルフたちは男の淫紋の力に落ち、
弓の名手シルファは族長から
『男と共に新たな宝玉を探すように』と伝えられる。
町エルフ・ミスティを淫紋で陥落し、新たな宝玉を
手中に収めた魔術師は、里に触手を巣食わせており、
族長は村おこしとして観光客向けに里を拓いていく。
変わりゆくエルフの隠れ里の行方は……？





この男……

里の子たちと、
毎日いっぱいしてる
くせに……



く……っ
悔しいけど

この男のおちんぽ
やっぱりすごい
……っ ♡



どうしてこんなに
元気なの……





求愛なわけ…
ないでしょっ…

私は誇り高き
エルフの森の
守り手なのよ…

おちゅ♡

あなたみたいなの…
大勢の女の子と
やりまくりの好色男に
そんなことしないわ…っ



おちゅ

おちゅ



なんだ、
拗ねてるのか？

なっ…
違うわよ！



そうか、可愛いところも
あると思ったのにな

たっ…



…こんなもの

ただ、
淫紋のせい
で、
こうなってる
だけよ…っ

ス…

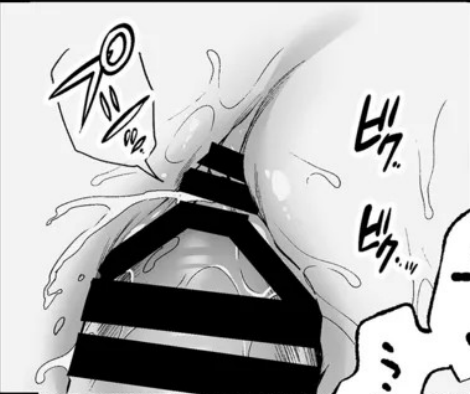


トクメクク...♡
トクメクク...♡

そんないきなり
強いのっ...♡



トクメクク...♡
トクメクク...♡



トクメクク...♡
トクメクク...♡

トクメクク...♡
トクメクク...♡

トクメクク...♡
トクメクク...♡

トクメクク...♡
トクメクク...♡



お前はホントに
ダメな奴隷だな
まだイク許可
出してないだろ！



おおおんっ……!!??♡♡♡

おんっ♡
おんっ♡



イきたての
無防備なおまんこ
後ろから突かれて、

ケモノみたいな声
でひゃううっ……!

おっ……♡んおお……♡

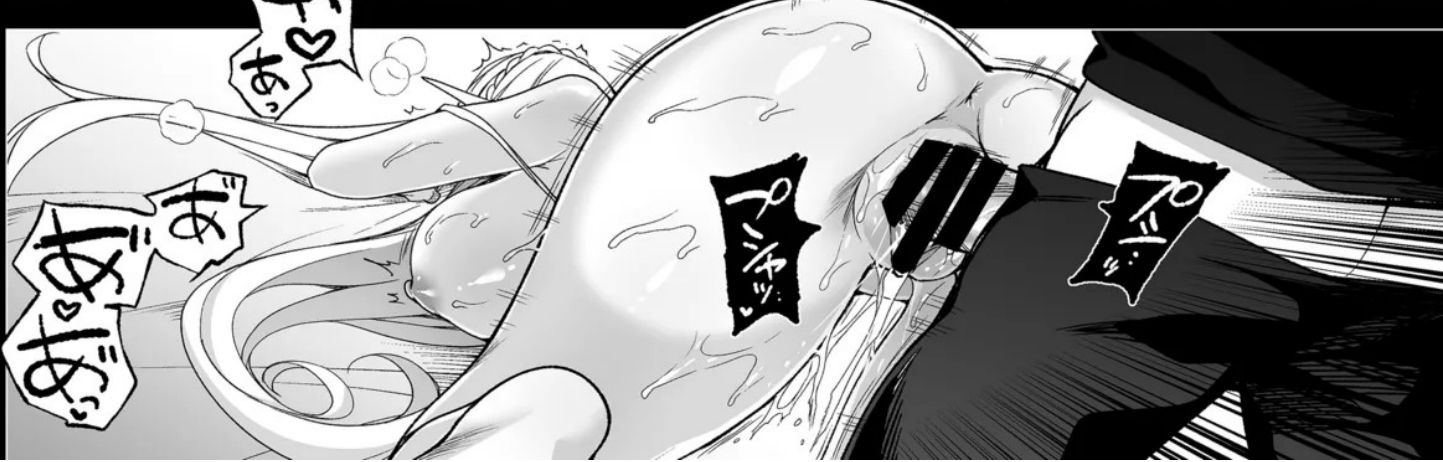


ほらほらっ休むなっ!
もっとマンコ締めろっ!

むりいいいっ……♡

おおおおおっ
おっ♡おんっ♡

だめだめだめまっマ……っ





雑魚
マンコめ!

ああああ...っ♡

ニッコ
ニッコ
ニッコ♡



アツアツ...!!♡

ハハハ

ん♡

ん♡

ん♡



ほらっ
ご主人様の種
そのメス顔で
受け止めるっ

ハイっ♡
くらひゃいっ♡



ご主人さまの
濃ゆい
サーメン...
いっぱい
かけまっ♡

おるんわ...

フッ...



びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

あああ...

は...

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

ああ...ふああ...あ...♡

なで...

#びしょ

#びしょ



ではあの町のエルフは、
お主以外もう残って
おらぬのだな…

なるほど…



確かにあの町で
お前以外にエルフの姿は
見かけなかったな。

ええ…近年は
エルフの特徴を
残す者も
ほとんどいません



ええ…私が
あの町の
最後のひとり。

祖母の頃には既に、
他のエルフたちは
人間に交ざり
生きていたそうです



そうか…
無念じゃがそれもまた
彼らの選んだ道か

さて――

改めて、
ミステイよ。

正式に
我がエルフの隠れ里で
ともに暮らすつもりは
ないか？

…私には一族で
代々受け継いできた
店があります

町を出るつもりは
なかったのですが
……

この男の
変な術のせいで、
選択の余地は
ないのでしょう
？

定期的な
メンテナンス
……

仕方ありません
から、しばらくは
ここに居ますが……

解呪できれば
すぐ町に
戻りますからね

ふんっ

▶ ミスティがなかまになった！



司書のソニカに
紹介してあげる

あら、面倒
かけますわね



よかろう、
ではシルファ。

古代エルフの
書物図書館が
あるわ



滞在中、この術の
解呪法を探るのに
どこか研究のできる
場所を貸して下さいさる？

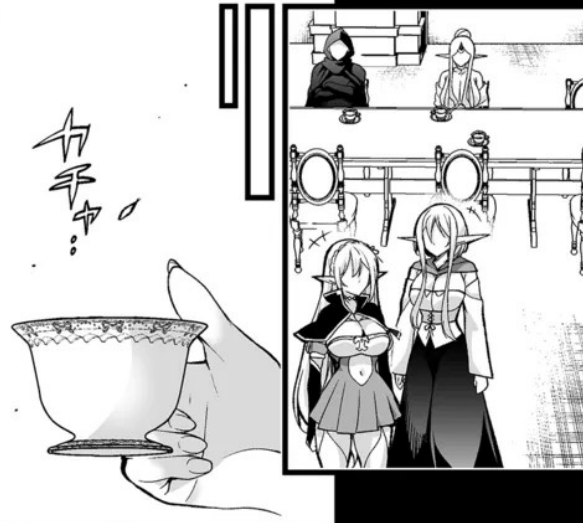
この宝玉についても、
分かることがあるかも
しれませんし…

…



…なるほどのう、
ブラフであの娘を
丸め込んだわけか。

ズズ



カチカチ



ま、それは
よかろう。



にしても
悪い男じゃ

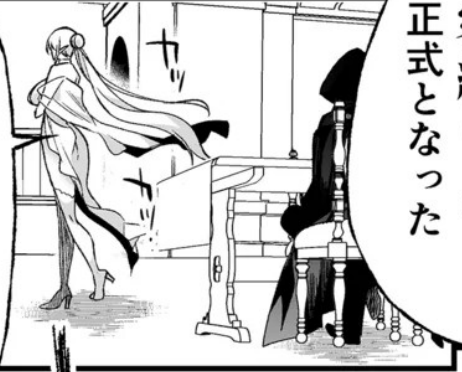
抜かせ
人のこと
言えんだろ



まあな
約束通り連れてきた。
後はお前次第だ。



これより、
妾の計画も
次の段階へ移る



さて—— 我らが
密約はこれより
正式となった



淫紋の力とて、
妾がその気になれば

造作もないの
じゃからな…？

お主の命は
妾の掌の上…
このこと
ゆめゆめ忘れるでない



この男
「宝玉使い」が
シルファと共に
帰還した直後



…ふん



だが――



こ奴をとらえた妾は
牢に幽閉した

▲過去回想
(Level:3参照)

幽閉するだけでは
済まぬ存在だと、
妾はすぐに理解した



お主の能力には
利用価値がある。
妾の目的に必要な
駒となろう



表向きには里の娘たちに
子種をつけるための契約

だが同時に、
妾はこ奴と
密約を交わした



宝玉を探しつつ、
見つけたエルフを
村に連れてくる。

かわりに俺は
好き勝手に
エルフを抱いていい。

……雑な
条件提示だ

それもお主の
望みである？

——エルフは
半神ともいえる
神聖なる種族。

それでも人の子が
台頭する時代に、

このままでは
生き抜くことは
できぬ。

少子化、
貧富の格差……

その根底にある
大地の精気の
枯渇

さらに悪いことに
先の大戦で
若きエルフ男の
大半も失われた

——そこに
お主じゃ

お主の淫紋は
我らエルフと
魔力のリンクを結び、

体内に眠る
エネルギーを
再循環させる。

いま我らは再び、
神聖なる力を
呼び覚ましつつある

子を孕むように
なったのも、
そういう事



妾の願いは

散り散りになった
エルフたちの力を
ひとところ結集し…



故あってエルフは
分断の憂き目にあい、

長らく便りも
交わしておらぬ
…



ギョ…

そのためには
多少強引な手を
使うことも辞さぬ



俺が各地で
宝玉を集め

各地のエルフを
探し出し、
この力で手中に
収める

そう
だったな？



子を産ませ…

純粹なる
エルフ族の血脈を
再興すること



—先のミスティは
友好的だったが、
一筋縄ではいかぬ者も
おるじやろう

かつての栄光を
忘れられぬ者たちや、

我らと敵対し
害をなそうとする
勢力も…



うむ…宝玉は過去
エルフの長の
所有物じゃった

宝玉のある所に
エルフがいる、と
いうわけじゃ

例外もある
じやろうが

近年、外界からの力が
強くなっておるのを
感じておる……

この里も今までは
隠れおさせたが
このままでは
ジリ貧じゃ……

……

……そんな難しい話は
知らん。

俺は宝玉の力で、
おまえたちエルフを
抱ければそれでいい

——いずれ我らの
長い命が尽きるとき、
我らの血は絶える
はずであった

はあ

ずいぶんと
屈折したもの
じゃな……

とはいえ、
エルフ族の未来を
背負うのは妾の使命。

お主はこれまで通り
淫紋の力を使い、
好きに振舞うがいい。

言われ
たことも
承知

だが妾は
お主の存在に
光明を見た

第2章

お主ならばきっと
妾の望みを
叶えてくれるだろう

……契約を
果たすために

お主はもっと
強くならなければ
ならぬ

そのため
にも……



エルフに

淫紋

を付ける本

この世界のすべての
エルフ族にとって、
お主の存在は
鍵となるであろう

お主の種に
我々の未来が
託された



お主の能力は
今のこの里に満ちる
エネルギーで
更に高められよう。

交わりにより、
お主の体内を
エネルギーで満たし

お主の魔力のレベルの
上限を開放する…



なんだその
恰好は…

キレすぎ
な

これは古代エルフの
祝祭で使用されたという
由緒正しき正装

お主のレベルアップに
一役買うであろう♡
励みたく
なるじやろ？

△族長の家の床下収納(LEVEL:4参照)より発掘

……つたく
変なことばかり

……だが
嫌いじゃない!!

ああおつ……♡

なにやうなの



そう、そう…っ♡
もつと妾を激しく
求めるのじゃっ…♡

ほお…っ♡

あああ♡
おっぱい♡
強い…♡

だがそれが
たまらぬ…♡

ジュウ

ジュウ♡

ジュウジュウ♡



乳首…
ちくび
もつとお…

おおお
おおお…♡



でかすぎる…

あいつもでかいが
お前は規格外すぎる

こんな乳で
どーやって
生活してるんだ

ジュウ

ジュウ

ジュウ

ジュウ

ジュウ



こんな凶悪な体に
ほとんど裸で
公共の場に出て
恥ずかしく
なかったのか？

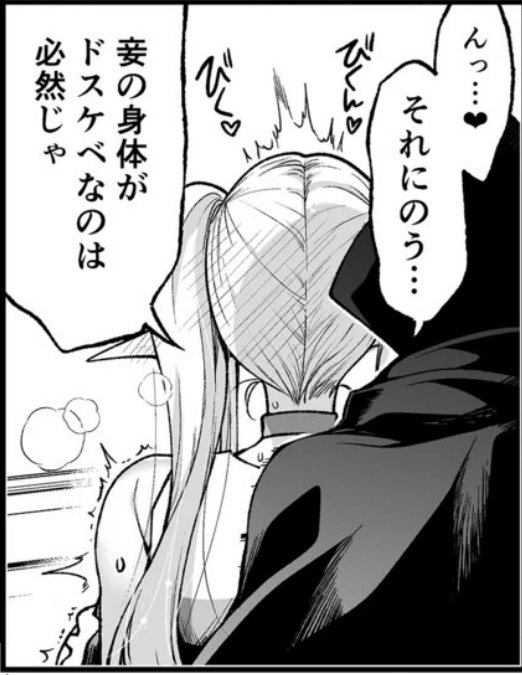
パーティーの仲間にも
同情するぞ

目のやり場に
さぞ困ったろう



年増の
フェロモン
まき散らして

昔、有名な
冒険者だったとか
いうが――



んっ…
それにのう…

妾の身体が
ドスケベなのは
必然じゃ



し、仕方
あるまい…

肌が出るほうが
魔力の効率が
いいんじや…
だか思い返すと
確かに皆、
目が合わなかった
ような気も…



もう幾年月…
オスを待ち
熟成させ切った

繁殖のための
ワガママボディー
だからの…♡

妾は今が春…
メスの真っ盛りじゃ♡

お主の手で、女の幸せ
感じさせておくれ♡



んん…♡
そなたの硬い
チンポ…♡



そんな簡単に侵入を
許すものか…♡

ええい♡
反撃じゃ♡

くらえ♡

あくまでも
ペースを
握られる…っ



荒々しい指使い
イイ…っ♡



あああッ…♡



んおし…おま…おま…
いっ…じ…おま…おま…



んおし…おま…おま…



さて…
ではお主の
健闘を称え…

妾がお主を
レベルアップを
応援してやろう♡



おト



なに…？



アッ



おちっ♡

おちっ♡

フレイ♡
フレイ♡
お・ぬ・し♡

ほっ♡
ほっ♡
ほっ♡

アッ
アッ
アッ

食われる…っ!!

おおっ…

おっ!?

おっ!?

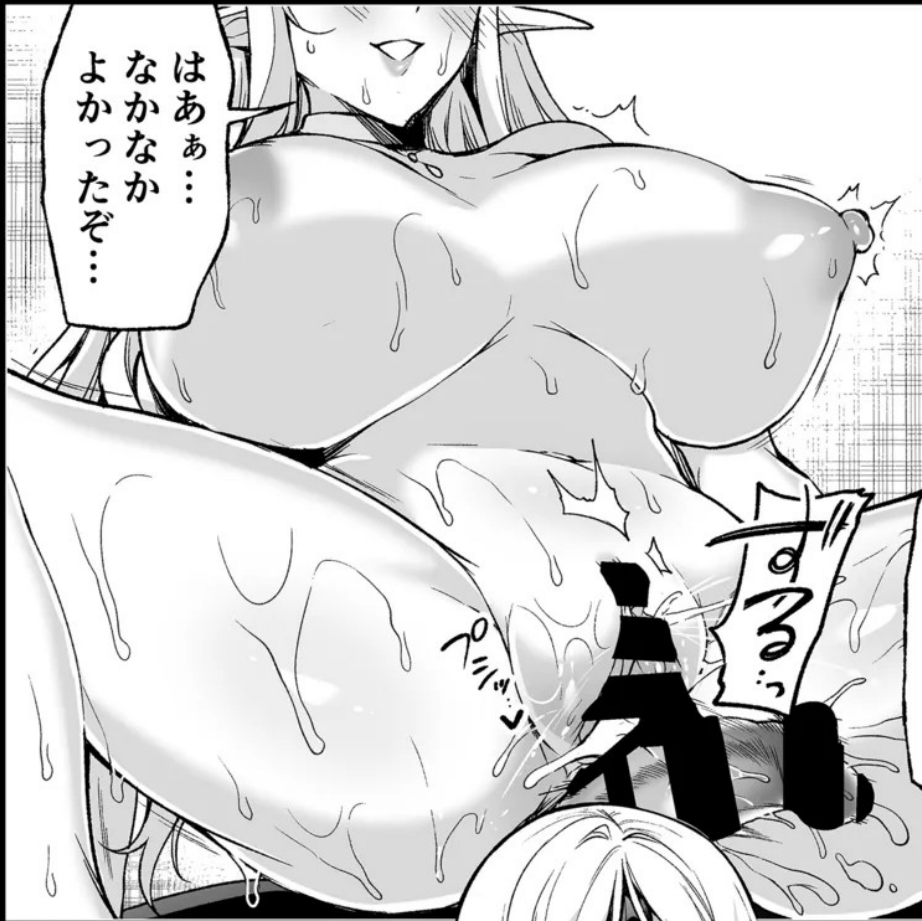
おっ!?

フフ♥
威勢の良い
精子じゃ♥

おっ!?







はああ…
なかなか
よかったぞ…



ふ〜…ふ〜…♡



ふふ…これでお主も
きつとパワーアップ
間違いなし…じゃ♡

はあ♡

はあ♡
はあ♡



いつの日かきつと…
我らエルフを
……



魔術師よ、
もつともつと
強くなれ…





ああ

ありがとうございます
サーシャ

ふふ
すっかり里にも
慣れたようで



ミステイさん、これ
頼まれてた本です



そのご様子はお役目が
ひと段落したんですね



ええ

感謝して
ますわ

なんがい環境もいいし
古い本も溜まらだし...

それは
ふかたぞす

あら

魔術師様。



あら？

でも
シルファさん...



ハイ

ちびっこ

ふん、朝から晩まで
とっかえひっかえ...
よく飽きないわよね



ああ...
ようやくな

毎晩、
魔術師様がおうちに帰ったら
お相手されてましたよね？

しかも
シルファさんからも
貪欲に何度も――

ドキ

!?!

なっなっ…
なんで知ってるの!?

ドタンバタン



声でかいからだろ…

大丈夫ですよ、
誰もシルファさんから
魔術師様の隣を
奪ったりしませんから…

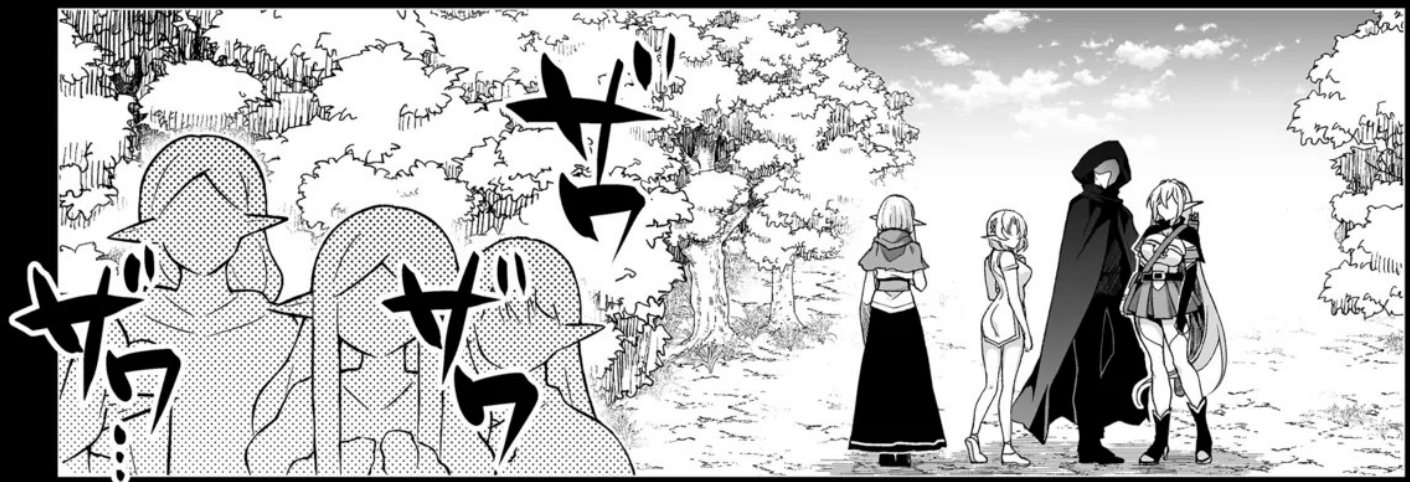
そんない
心配して
ない…

でも…

もし、
その席がいららないなら
みんな狙ってますけど
……♡

……!!







騒ぎの元は
あちらのよう
ですね

.....?
?



誰かしら?

里のエルフでは
ないようだけど

我らエルフの
最古の森が
このような辱めを
受けているとは

ここまで愚かだとは
思いませんでしたよ。
シエラディーナ。

…嘆かわしい





お主は……



To Be Continued...